

【NEWS RELEASE】

2021年1月4日

SMBC日興証券株式会社

年頭所感 近藤雄一郎代表取締役社長(CEO)発言要旨

明けましておめでとうございます。皆さまとともに新しい年を迎えられたことを、大変嬉しく思っています。

昨年は世界中で新型コロナウイルスへの対応が続いた一年でした。全世界がほぼ同時に未知のウイルスに立ち向かうという前代未聞の事態が、私たちの生活にも大きな変化をもたらし、想像すらしていなかった多くのことが日々現実のものとなっています。

人と人との接触が制限される中、デジタルツールは多くの人にとって欠かせないものとなりました。デジタルツールが身近な存在に変わる過程で明確になったことは、ツール自体の高い機能性だけでなく、入力画面等のわかりやすさや、利用時の疑問に答えてくれる人の存在の重要性です。デジタルが普及することで、人とのコミュニケーションがより重要となる、当社が取り組むべき新たなデジタルトランスフォーメーションの方向性が明確になってきたと感じています。

また、コロナ問題や昨今の気候変動等により、企業や社会の持続可能性が差し迫った問題となる中で、企業の持続的成長や社会への貢献を促す ESG 投資を重視する流れが本格化しています。多くの投資家と企業とをつなぐ当社は、最新の投資家ニーズと企業動向を理解し、お客さまや社会に課題解決の提案を行う絶好のポジションにいます。役社員一人ひとりがお客さまの目線、すなわち企業の経営者や投資家の目線を持ち、お客さまや社会の課題に対し、自分たちのスキル・知識をどう活かせるかを考え抜き、行動に移すことが重要です。グループ連携のみならず外部パートナーの知見も積極的に活用し、お客さまの課題解決に繋げることで、ぜひ 2021 年を SMBC グループのグローバルソリューションプロバイダーとしての大きな飛躍の年にしたいと思います。

本年はコロナからの回復、そして新たな成長の芽吹きが展望される年です。役社員全員で変化を前向きに捉える気持ちを大切に、健全な資本市場の発展に貢献してまいりましょう。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上